



—東地中海地域ニュース—

シリア：米国との関係

(2日付ティシュリーン紙)

2日付シリア紙ティシュリーンは、米国を訪問中のミクダード副外相が米國務省高官などとの会談を行ったと報じている。

1. ミクダード副外相は、第65回国連総会への参加後にワシントンを訪れ、複数の米國務省高官および米国会議員と会談した。会談では、中東情勢、和平プロセス、および両国関係の活性化について話し合った。
2. 2日間にわたる訪問においてミクダード副外相は、スタインバーグ國務副長官、フェルトマン近東局次官補、シュワルツ人口・難民・移民担当次官補、およびその他米政権高官と会談を行った。
3. ミクダード副外相は、スペクター共和党上院議員、キース・エリソン共和党下院議員、およびダン・バートン民主党下院議員と会談し、和平プロセスにおける進展、(シリア・イスラエルの) 間接交渉再開に関するシリアの立場、および両国関係について話し合った。
4. 公式会談に加え、ミクダード副外相はワシントン訪問中に複数の研究者や研究所所長との会談を行った。